

建築設備配管

技術セミナーの開催について

WSP小径管部会では、ライニング鋼管及び協会活動内容について、PRや情報発信を充実していきたいと考えています。その一環として、平成26年度は、下記のとおり需要家の皆様向けと協会会員向けに技術セミナーを開催しました。



熱心に聴講しているセミナーの様子

①建築設備鋼管技術セミナー

目的：需要家の皆様に、広くライニング鋼管を知っていただくため

日時：平成26年11月11日(火) 13:30~16:00

場所：日本水道会館 会議室

対象：東京都管工事工業協同組合

| テーマ | 内容 |
|------------------|---|
| ライニング鋼管の特長 | <ul style="list-style-type: none"> ●構造：鋼管の内面に硬質塩ビまたはポリエチレンを被覆したもの ●特長：耐久性・強度と耐食性の両立を実現 |
| 建築設備配管の種類と用途 | <ul style="list-style-type: none"> ●鋼管の種類：JIS規格をベースに製管・仕上方法等 ●防食鋼管の規格と用途：亜鉛めっき鋼管からライニング鋼管まで ●規格名称と主な仕様：管の構造：用途：製造メーカー |
| 建築設備配管の接続 | <ul style="list-style-type: none"> ●管継手：それぞれの種類、仕様、用途等 ●施工手順と注意事項：管端防食継手との接続について ●接続例：器具接続、バルブ接続などの接続例 |
| 各種鋼管の経年変化 | <ul style="list-style-type: none"> ●ライニング鋼管・継手の開発経緯 ●経年使用品の調査結果：塩ビライニング鋼管（給水）、ポリ粉体ライニング鋼管（給水）、亜鉛めっき鋼管（消火）での検証 |
| ライニング鋼管リサイクルの仕組み | <ul style="list-style-type: none"> ●リサイクルシステムの概要：回収からリサイクルまでの流れ ●回収材搬入の手続き：申込の方法。持ち込み可能なものなど。 |
| 最近のトピックスから | <ul style="list-style-type: none"> ●「管端つば出し鋼管継手加工・施工基準（WSP071）」について ●つば出し加工手順。加工後の品質と試験方法。 ●公共建築工事標準仕様書への掲載。施工実績。フレア加工機。 |

②会員向け配管セミナー

目的：小径管部会の活動状況、JWWA規格の見直し及びPR活動の重要性など情報提供をするため

日時：平成26年12月10日(水) 14:30~16:45

場所：日本水道会館 会議室

対象：WSP会員

| テーマ | 内容 |
|---------------------------------|--|
| 小径管部会の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●正会員変更、運営や重点活動内容 ●メーカー別製造状況、小径管生産量の推移 ●JWWAライニング鋼管及びねじ切り油、シール剤の各3規格の改正状況 ●部会の体制、セミナー開催状況、巡回PRの実施状況、HPリニューアル |
| 東日本大震災に関する配管材調査 | <ul style="list-style-type: none"> ●千葉県浦安市の配管材の調査結果及び被害状況報告 ●耐震継手や支持金具などの細かな耐震化の有効性が確認できたことの報告 <p>建物と埋設部の間で変位が大きいところは耐震継手が設置され有効に機能していた。建物内配管は支持金物の固定により建物のゆれと追従したため破損が無かった。</p> |
| 公共建築工事標準仕様書及び機械設備工事監理指針の改正 | <ul style="list-style-type: none"> ●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）及び監理指針について、平成22年度版及び25年度版の主な改正点の紹介 ●平成22年度版で管端つば出し鋼管継手（WSP071）が規定され、平成25年度版では用語等の一部の修正があったこと。 |
| 管端つば出し鋼管継手加工・接合基準（WSP071）の制定・改正 | <ul style="list-style-type: none"> ●管端つば出し加工の改正概要について解説 ●WSP071規格改正の背景及び2014年版の変更点について解説 ●（遊合型）フランジ適用基準、ガスケット種類の例示、表面粗さ測定法など ●管端つば出し加工の適用事例の紹介と解説 |
| ライニング鋼管リサイクルの仕組み | <ul style="list-style-type: none"> ●塩ビライニング鋼管の回収、リサイクルの仕組み <p>その他</p> |